

# Netskopeで社内のITセキュリティが変化 エンジニアが働きやすい環境を実現

導入事例

+

転職サービス「doda(デュード)」の運営をはじめ、各種求人メディアや人材紹介サービスを通して転職支援を行うパーソルキャリア。グループ全体で「はたらいて、笑おう。」というビジョンを掲げ、すべての「はたらく」が、笑顔につながる社会を目指しています。また、急速な事業拡大と社員数の増加に対応するため、パーソルキャリアではNetskopeを導入することにより、社内の開発環境整備に取り組んでいます。



## 従来の境界型セキュリティの限界 システム開発のスピード悪化も課題に

パーソルキャリア株式会社は、「人々に『はたらく』を自分のものにする力を」をミッションとし、転職サービス「doda」やハイクラス人材のキャリア戦略プラットフォーム「iX」をはじめとした人材紹介、求人広告、新卒採用支援などのサービスを提供しています。

「テクノロジー本部は、転職を含めた複数のサービスを通じて、お客様の『はたらく』をテクノロジーで支えるために設置されました。3年ほど前に誕生した組織ですが、すでに400名を超え、エンジニア、データサイエンティスト、プロジェクトマネージャーなど、専門職の社員が所属しています」と、デジタルテクノロジー統括部 デジタルソリューション部シニアエンジニア 柿田一氏は語ります。

柿田氏によると、テクノロジー本部に所属するエンジニアたちは、一般的な情報システム部門とかなり異なる人材揃いです。「Slur出身の方から、ベンチャー企業の元社長、研究者などさまざまなバックグラウンドを持つ社員が多いです。組織規模が異なる会社から入社しているので、カッチリと標準化されていない環境で、自由に開発をしてきた人たちが多くですね」(柿田氏)。しかしパーソルキャリアが採用していた従来のITセキュリティの仕組みでは、テクノロジー本部のエンジニアがそれぞれ利用するクラウドサービスに対応しきれていませんでした。

またパーソルキャリアではエンジニアリング専用の環境が存在せず、転職希望者の個人情報も保持する堅牢な環境にて開発を行う必要がありました。情報漏洩やセキュリティインシデントに対する対策を講じた堅牢なセキュリティの維持を最優先するべく、外部のクラウドやWebサービス利用する場合においては膨大な手続きが必要となります。そのため申請は、2カ月近くかかることもあり、開発スピードの悪化とそれによるモチベーション低下のリスクが課題となっていました。

「そもそも近年のクラウドシフトで、データとシステムの大半はクラウド上にあります。加えて、コロナ禍の影響により社員はほとんどオフィスにいません。操作をする人も操作するデータも全部社外にある以上、従来の境界型セキュリティは全く無意味で何も守れないと感じていました。現在の環境に即したセキュリティを構築する必要があったのです」と柿田氏は振り返ります。



## 組織概要

業界	地域	設立	従業員数
人材サービス	日本	1989年	6,929名(2024年3月1日時点)



パーソルキャリア株式会社

<https://www.persol-career.co.jp/>



パーソルキャリア株式会社  
ガバナンス推進統括部  
データガバナンス部  
シニアコンサルタント  
柿田 一 氏

